

## FuelConとHerrmann博士ご夫妻との縁

FuelCon and Relationship with Dr. Rudolf Herrmann and Dr. Karin Herrmann

### 石田 耕三

Ishida KOZO, Dr. Eng.



Rudolf博士のご自宅で



奥様(Karin博士)の墓前にて



1996年 送別会にて、石田フェロー(前左)とKarin博士(右)

2019年6月3日(月曜日), FuelCon社\*<sup>1</sup>訪問の後, ベルリンに住んでおられる Rudolf Herrmann博士を訪問して, 昨年亡くなられた奥様のKarin博士のお墓参りをして来ました。

Herrmannご夫妻は1994年から2年間, 特別ゲスト研究者として堀場製作所の開発部門で研究され, 同時に当時の若手開発者へのご指導をいただきました。Karinさんからはレーザーダイオードに関する知識と技術を指導いただき, 現在, 高感度ガス計測に応用されている量子カスケードレーザ(QCL)導入のきっかけにもなりました。ご主人のRudolf博士も半導体薄膜生成とその物理的特性などに関する指導を頂き, ISFETの電極開発やMEMSプロセスの開発の基本構築にも貢献にいただきました。それぞれのご専門のお立場から, 本誌にも論文を寄稿いただきました<sup>[1, 2]</sup>。そのご縁で, 今でもお付き合いがあり, 今回の訪問となりました。

先日, 堀場厚会長兼CEOが, FuelCon社が本拠を置くザクセン=アンハルト州(The federal state of Saxony-Anhalt)のReiner Haseloff知事と面談されましたが, Rudolfさんとお話から, その知事は, KarinさんがHunboldt大学(ベルリン)物理学教授時代の教え子であることが分かりました。Herrmannご夫妻とお会いして20年近い時を経て, 堀場厚会長兼CEOのHaseloff知事との面会を通じて, 再びHerrmannご夫妻との関係を知り得たことは偶然とは言え不思議なご縁を感じました。お世話になった多くの方々とのご縁に恵まれた私の人生を振り返り, 技術を通じた人とのつながりを大切にすることで, 若い人達にもこのような幸せを感じてほしいと願っています。



Reiner Haseloff州知事(The president of the federal state of Saxony-Anhalt)(右)と堀場厚会長兼CEO(左)との面会



\*1: FuelCon社について

会社名 HORIBA FuelCon GmbH, 設立2001年(FuelCon AG)  
本社所在地: Magdeburg-Barleben, Sachsen-Anhalt, Germany

同社のザクセン=アンハルト州関連の受賞実績

Entrepreneur Award 2012 for exemplary entrepreneurial commitment, awarded by the FDP regional association of Boerde district in Saxony-Anhalt(新事業を起業した会社の優れた貢献を称え, ザクセン=アンハルト州のBoerde地区のFDP地域協会より授与)

Hugo-Junkers-Innovation-Award 2006 for development and market introduction of the HORIBA FuelCon TrueData-Line, presented by the Ministry of Employment and Economic Affairs of the Federal State Saxony-Anhalt(HORIBA FuelCon TrueData-Lineの開発および製品の市場展開を称え, 連邦州ザクセンアンハルト州雇用経済省より授与)。

\* 本内容は特段の記載がない限り、本誌発行年時点での自社調査に基づいて記載しています。

## 参考文献

- [1] Rudolf Herrmann, *Readout*, No.8, pp 61-68(1994).
- [2] Karin Herrmann, *Readout*, No.10, pp 10-19(1995).



### 石田 耕三

Ishida KOZO

株式会社 堀場製作所 フェロー  
工学博士  
Fellow  
HORIBA, Ltd.  
Dr. Eng.